

第13回 がんばれ西高!

山陰中央新報 「ヤングこだま」欄

松江西高

優しいより厳しい現実

3年 谷村 大樹

人はみんな優しい人だと思いがちですが、現実には厳しい現実があります。例えば、学校の勉強や部活動の練習、友達との関係など、すべてが厳しく感じることがあります。でも、だからこそ成長できるのだと思います。

常に負けない気持ち持って

3年 久保 誠志

私は常に負けない気持ちを持って生きています。それは、どんな困難にも立ち向かえる力があるからです。自分自身を信じて、前を向いて進んでいきます。

周囲の温かい支え忘れずに

3年 山崎 優香

周囲の温かい支えは、私にとってとても大切なものです。家族や友達からの励ましや応援のおかげで、乗り越えられたことがたくさんあります。これからも支えあっていきます。

自分の夢に向かってまい進

3年 森井 春奈

自分の夢に向かってまい進しています。夢は遠くまでありますが、毎日少しずつ努力を積み重ねています。諦めず、最後まで頑張ります。

責任感持ち自転車事故防止

3年 持田 卓摩

責任感を持ち、自転車事故防止に取り組んでいます。自分自身だけでなく、周囲の安全にも気を配ります。安全運転を心がけていきます。

松江西高

多くのことを学んだ部活動

3年 青山 裕紀

部活動を通して、多くのことを学びました。チームワークやコミュニケーションの大切さ、そして自己管理能力の向上など、貴重な経験ができました。

食事のあいさつはきちんと

3年 平江 朋

食事は健康の基盤です。食事前のあいさつは、心と体を整える大切な習慣です。毎日きちんと行っています。

「気付く人になる」念頭に

3年 中井 葉

「気付く人になる」を念頭に行動しています。周囲の小さな変化や困りごとを察知し、サポートできるように努めています。

地球の温暖化防止へ行動を

3年 島根 礼奈

地球温暖化防止のために、日々の生活から行動を起こしています。リサイクルや省エネなど、できることから実践しています。

若いエネルギー引き出して

3年 矢田 瞳

若いエネルギーを引き出して、社会に貢献したいと考えています。新しいアイデアや発想を生かして、社会の発展に力になりたいです。

放置田減らす方法考えたい

3年 赤豆 紀卓也

放置田の削減方法を考えたいです。地域活性化や環境保護のために、効果的な対策を模索しています。

若い人たちの意見を特集する「ヤングこだま」(日曜日掲載)に本校の3年5組の生徒が掲載されました。

<掲載された生徒>

- 青山裕紀 『多くのことを学んだ部活動』
- 久屋香菜子 『常に負けない気持ち持って』
- 平江 朋 『食事のあいさつはきちんと』
- 中村 愛 『「気付く人になる」念頭に』
- 谷村大樹 『優しいより厳しい現実』
- 山崎優香 『周囲の温かい支え忘れずに』
- 森井春奈 『自分の夢に向かってまい進』
- 持田卓摩 『責任感持ち自転車事故防止』
- 石倉礼奈 『地球の温暖化防止へ行動を』
- 売豆紀卓也 『島根の良さ全国に広めたい』
- 矢田 瞳 『若いエネルギー引き出して』
- 上代一徳 『放置田減らす方法考えたい』

松江西高

若いエネルギー引き出して

3年 矢田 瞳

若いエネルギーを引き出して、社会に貢献したいと考えています。新しいアイデアや発想を生かして、社会の発展に力になりたいです。

放置田減らす方法考えたい

3年 赤豆 紀卓也

放置田の削減方法を考えたいです。地域活性化や環境保護のために、効果的な対策を模索しています。

地球の温暖化防止へ行動を

3年 島根 礼奈

地球温暖化防止のために、日々の生活から行動を起こしています。リサイクルや省エネなど、できることから実践しています。

「気付く人になる」念頭に

3年 中井 葉

「気付く人になる」を念頭に行動しています。周囲の小さな変化や困りごとを察知し、サポートできるように努めています。

食事のあいさつはきちんと

3年 平江 朋

食事は健康の基盤です。食事前のあいさつは、心と体を整える大切な習慣です。毎日きちんと行っています。

多くのことを学んだ部活動

3年 青山 裕紀

部活動を通して、多くのことを学びました。チームワークやコミュニケーションの大切さ、そして自己管理能力の向上など、貴重な経験ができました。